

第7回 公民館まつり

平成26年2月15日(土)～16日(日)

今年も公民館まつりを行います!!文化祭とは異なり、サークル・団体の活動を体験できるお祭りとして人気があり、今回で7回目を迎えました。何か始めたいと考えている方、普段公民館で何をやっているのか知らないという方、ぜひご来場下さい。シンプルな体験から、レベルの高い体験まで幅広く楽しめる内容となっております。

様々なサークル・団体の活動を体験してみませんか!!皆さんの参加をお待ちしております。

※体験は無料です!模擬店(有料)もあります。

※体験はどなたでも出来ますが、参加するサークルは公民館を利用しているサークルのみとなります。

昨年の様子



フラダンスに挑戦!!



合唱に挑戦!!

ふれあい
第157号

※公民館々報ふれあいの記事に関しての問い合わせ先
野木町公民館 ☎(57)4177

平成26年1月12日(日)午前10時より午後4時まで新橋小学校校庭にて開催いたします。

どんど焼きは古くからの伝統行事としてお札や正月用の門松等を燃やし、竹棒などで餅やみかんを炎に入



どんど焼き

お知らせ

れ、焼いて食べると厄除になるという言い伝えにより行われてきました。

なお、その他アトラクションとして、体育館ステージでは津軽三味線やミニコンサート等の開催。野外ステージでは、ゆるキャラ“と遊ぼう”として、ひまわりサンちゃん(野木)、“さのまるくん”(佐野)、“ゆきとくん”(古河)その他、栃木BREXチアリーダーズ等出演いたします。

皆様の参加をお待ちしております。

※どんど焼きは地域によりやり方が異なります。



分館から

野木
(野渡)

芋煮会



11月23日(土)、野渡コミュニティセンターに於いて芋煮会が実施されました。朝8時に役員さん達が集まり手際よく準備し、10時には地域の人たちを待つばかりになっていました。

10時を過ぎた頃から人が集まり始め、湯気の立った美味しい芋煮と、消防団の方たちが腕を奮った焼きそばを、室内や外の

暖かい日溜まりの中などおもい思いの場所で美味しそうに食べていました。中には、おかわりをする子も居て、お年寄りの方々の笑みを誘っていました。我が家からも帰省していた嫁と娘が6歳から1歳のやんちゃな孫4人と共におじやまをし、楽しいひと時をすごさせていただきました。



友 沼

ANAメンテナンスセンター
機体工場と泉岳寺へ



11月22日(金)、日頃空港を利用はしても、飛行機を整備している所は見たことがないので、見学に興味津々。また、赤穂浪士の討ち入りの日も近く、泉岳寺を訪れるのも楽しみだった。

まずANAのホールで運営状況の説明を聞く。ビデオでアメリカ工場の製造工程を見ると、技術革新のすごさに目を見張る。1機仕上がるまでに何百人もの人がかわり、責任を自覚して

安全で快適な旅が出来る様に心がけているとのこと。これこそ、安心して空の旅ができるというものである。

次にヘルメット着用で、整備工場に降りる。間近にJA715Aが翼を広げていた。

格納庫は幅230M高さ42M。天井の両側から金属が網の目のように組まれていた。大きな荷物を吊す時は、ゴンドラから注意を促すメロディーで合図する。フアンブレード(エンジン部)

は1分間に3000回転するという。そんな中で作業は行われていた。

泉岳寺への移動に時間がかかり、時すでに夕方。線香を手向けにお参りしただけで残念。夕映えの銀杏並木が美しかった。



佐川野

健康ウォーキング 「太平山を歩こう」



アガイドからわかりやすく説明がありました。

おおひら郷土資料館では「舟形木棺」や「木装太刀」などが展示され、古墳時代中期の遺物が完全な状態で発掘されたことに驚きました。白石家戸長屋敷では当時の生活や戸長としての仕事を垣間見ることができました。歴史や秋の自然に触れながら健康増進とともに地域の方々との親睦を深めることができました。改めて感謝申し上げます。

10月27日(日)は、台風一過でウォーキングに絶好の日和でした。随神門からは約220段の石段を登り太平山神社を参拝した後、謙信平からの眺めを楽しみました。

霞んだ眼下には小さな山が海に浮かぶ島のように、また遙か彼方には東京や埼玉の高層ビル群が見えました。

山を下り大中寺では、境内に昔から伝わっている七不思議伝説や皆川城主の娘の墓にまつわるエピソードなどをボランティア



南赤塚

地域学習会を 開催して



8月から10月に掛けて、5回に渡り地域学習会を開催しました。1回目は県庁を見学して、県の仕事を理解することができ、又、議事堂は敵かな雰囲気を感じ出されていました。

9月に行われた関東大学落語研究会講演には各大学の学生による落語競演での熱演ぶりは若きホープの存在に、眩しいばかりの未来を感じた。

一週間後の鹿野クリニック・鹿野先生による「健康と生活習慣について」の講演では、健康でなければ楽しい夢を見ることもできない。年金と医者には頼ってはいけない。本人が健康について真剣に向き合わないとどんな名医でも治すことはできない。病気を治すのは本人である。と

いう言葉が印象的でした。

4回目は、のぎスポレクフェスタに参加。体力測定、二ユースポーツ体験で自分の体力の低下を実感した一日でした。

最後のウォーキングは雨天で残念ながら中止。南赤塚分館で雨の向こうの希望の虹を眺めながら今回の地域学習会を終了した。



【お知らせ】

サークル紹介してみませんか

公民館、町体育センター、町施設などで活動している団体の方で、ご希望がございましたら、館報編集委員会事務局までご連絡下さい。

TEL 57-4177

※掲載につきましては館報編集委員会にて決定させていただきます。

特集
「きずな」

絆

丸林地区防災まつり

11月17日(日)に避難訓練、消火器による消火訓練、特別講演、東日本大震災の被災地のパネル展示を内容とする丸林地区の防災祭りを実施しました。約200名の住民の方が避難所に指定されている町体育センター前に集合し、首都直下地震、南海トラフ巨大地震を想定した避難及び、災害状況の情報収集の訓練を行いました。

その後、小山消防署野木分署による消火器の種類及び取扱、消火方法の説明を受け、灯油を燃やしての消火訓練を参加住民の方々に実施していただきました。

消防車、救急車の装備品の説明では、特に救急車はあらゆる救急救命場面を想定しての装備品を備えていることに感心。

特別講演は東京消防庁滝野川署予防課長による「福島第一原子力発電所における東京消防庁

の活動をテーマに、出勤準備から現地の放射能の危険な中で生々しい放水活動の内容で、災害に備えて事前準備の重要性、備えあれば憂いなし感を強くした講演でした。



素顔

お孫さんと一緒に
健康マラソン

遠藤 俊春さん



野木町健康マラソンに孫の歩夢あゆむくんと共に参加した遠藤俊春さんは63歳。歩夢くんが小学一年生のときから6年間毎年欠かさず2人でこの大会に出場している。今回は前日まで足の痛みがあり、出場を迷っていたが、無事に「けやきコース」の4kmを完走した。

高校卒業後、就職した会社で駅伝部に入部したのがマラソンを始めたきっかけ。練習がきつくて、いやいや走っていた時期もあったが、もう40年以上も続けている。20代の頃は青海マラソンなど都内や近郊のマラソン大会に数多く出場した。20年ほど前から野木中のグラウンドにもときどき顔を出し、陸上部の生徒たちと一緒に汗を流すこともあり「陸上おじさん」と呼ばれている。



57歳で駅伝部は引退したけれど、仕事もマラソンもまだまだ現役。明るい奥様と、2人の子どもを立派に育てあげた現在は素敵な家族に囲まれ、健康維持のため楽しく自分のペースでマラソンを続けている。